



60歳でエルダー出向で警備会社へ出向している組合員は毎月ものすごい超勤が発生している。エルダー出向会社の実態について説明して欲しいと支社へ訴えた。

若い車掌が退職する

「トキてつ」へ出向している。ダイ改から車掌行路にリネンの作業がある。NTSから直営に戻した。労働時間の見直しもあった。若い車掌が今までに8人退職した。ポーナスは悪く1.1カ月分まで業



NO. 962
発行 2018年 10月15日
国鉄労働組合 新潟地方本部
発行責任者 加藤 秀夫
編集責任者 教 宣 部

地本退職者の定期見学会



地本退職者 激励会の開催 11月17日(土)



務手当が少し出るが数千円だ。厳しい労働条件で辞めていく。エルダー出向者は今までどおりだ。

トキてつは差別が無い

「トキてつ」では差別が無い。教導員として指定された。JRではありえない。JRの指導助役は主任でないのに教導をつけるのはどうかと言っている。

分会活動、2月に旗開きを開催した。JALの物販を取り組んだ。メーデーの参加、国労長野支部と交流、竹の子取りなど取り組んだ。



貨物協全員集会を開催

貨物協議会は、現在16名の組織で60歳以上が9名で3名が退職する。勝山議長も今年度退職する。10月6日に全員集会を開催し今後の活動について議論する。

貨物のベースアップは300円・55歳以上は71%になる。厳しい賃金体系だ。



必ず重大事故が発生する

職場は合理化で7月は大変な状況だった。7月1日メンテ見直しで新津派出が廃止、閑散線区の保線見直しが実施された。

線路の工事について基準値まで工事はしない。業務については丸投げされた。移行時期、検査がまだ途中なので現場は混乱している。9月13日まで検査・工事計画が立っていない。

派出の廃止で業務など対応が厳しい。いろいろな検査や一斉検査点検が発生し残業が多い。必ず重大事故が発生すると現場で言っている。



現場は国労差別がある

現場の実態、グリーン3名・J労2名・国労1名・未加入50名。組合員扱いは外へ。コミュニケーション掲示板があるがルールがある。掲示物は承認が必要だ。労働組合、政治、宗教は駄目だ。職場の慰労会の出席は「J労、国労は不可」。

職場主催のためだ。掲示板には慰労会の写真が掲示されている。

2005年、国労は一括和解したが、現在も会社は国労に対して同様なことをやっている。現場では国労差別がある。

労働組合員は社友会に入れないのか。入れないことは新たな差別が始まったことだ。不当労働行為だ。

社友会はどういう組織なのか。

乗務員の勤務制度が変わった。閑散線区では手当が下がる。勾配線区、冬季期間など注視してきた。新津運輸区では女性用の宿泊施設ができる。



書記長集約



駅など安全に関すること
 現状は不安全な実態だ。新潟駅ホームなど常時社員を配置するよう要求していく。会社は乗客にも非常時などお願いしているが、転落事故が発生しているのでホーム要員は必要だ。

冬季の問題
 1月11日以降、少しの雪でも列車が止まった。東日本は雪は雪害では無く異常時だと言っている。

職場代表選挙
 地本は、取り組みはできなかった。36協定について議論してこなかった。来年は対応していく。

公共交通を守る闘い
 自然災害があって、復旧・復興に莫大な費用がかかるため各JRは沿線自治体へ上下分離方式が提案されている。只見線は復旧後、開通してから地元負担が多くなる。毎年、2億1千万円になる。他の地域についても公共交通を守る闘いを進める。

ダイ改ごとに直江津から新潟への直通列車が無くなる。料金も高くなっている(しらゆき)。通学など利用者の実態調査を取り組んでいく。

組織拡大
 直江津のトキめき・出向者の取り組みは素晴らしい。組対会議で意思統一具体的な行動に移していく。分代と組対を開催し取り組んでいく。

中越事務所問題
 議論してきたが具体的に進んでいない。早急に進めていく。

財政問題～経費節減で、11月17日退職者激励会、1月の旗開きの内容について検討し経費をかけないようにしていく。

組織拡大については組対費で対応していく。

東日本本部からの答弁

乗務員勤務制度について「要求を上げる。本社交渉で賃下げを指摘した。会社は総枠上がると回答している。」
 手当が下がることについて実態を調査する。ダイ改時で交渉のときの検討課題としていく。
 本体エルダの賃金問題、同一労働・同一賃金についてどうか。労基法などから改善を図っていく。

短日勤務についての無給の4日間は会社が指定することはどうなのか。希望日を要求できるようにしていく。
 社友会は各地方で発生している。変革2027、どんな問題があるのか議論していく。
 組織拡大トキめき出向者の分会活動は素晴らしい。職場でそれぞれできることを検討していく。



編集後記

地本定期大会の特集を3号にわたって編集しました。大会での代議員・職協代表者の方々の発言をすべて記載しました。
 ここまで読んでいただいてありがとうございます。
 地本執行委員会は、新しい体制が確立されました。新しく執行委員長に長谷川正志さんが選出されました。地本執行委員会が強化されました。これから年末にかけて、さまざまな課題がありますが地本執行委員会はせいっぱい奮闘していきます。宜しくお願いします。



10月に入りました。夏から秋に変わり、これから少しずつ寒くなっていきますね。
 今年の冬は、どのくらい雪が降るのでしょうか。寒くなっています。が身体に気をつけてください。

